

電源インピーダンス安定回路網

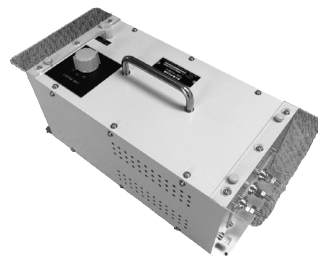
TNW-407F2・408F2

CISPR 適合品 / 150kHz~30MHz

TNW-407F2・408F2は、CISPR（国際無線障害特別委員会）およびFCC(ANSI)等に適合した周波数範囲150kHz~30MHzにおいて、妨害源から電源供給線に漏洩する妨害電圧を測定する場合に使用する電源インピーダンス安定回路網です。

また、TNW-407F2は単相仕様になっています。TNW-408F2は、供試器の線路相数に応じて単相から三相3線式まで測定できるようになっています。

なお、弊社の妨害波強度測定器（TNM-2401およびTNM-2402）に、本器の補正係数を登録することにより、キー操作により自動加算が可能で妨害電圧の直読測定ができます。



仕様

項目	型名	TNW-407F2	TNW-408F2
周波数範囲		150kHz ~ 30MHz	
該当規格		CISPR11/13/14/15/16/22, ANSI C63.4-1992、電気用品取締法	
測定線路相数		単相	三相3線式
測定線路インピーダンス		50 Ω	
測定端子		50 Ω (BNC 形コネクタ)	
電源線路定格		AC/DC 125V、15A	AC/DC 440V、25A
最大定格		AC/DC 250V、15A	
付属品		同軸ケーブル (BNCP-3D2W-BNCP、2 m) 1 交流電源ケーブル (TNW-407F2、3 m) 1	
寸法・重量		300(W)×130(H)×160(D)mm、約4kg	300(W)×130(H)×160(D)mm、約4.5kg
使用できる妨害波強度測定器		TNM-2401、TNM-2402 (※)	

TNW-408F2は受注生産機種

※旧協立電子工業製の妨害波強度測定器のKNM-2401、KNM-2402、KNM-2403またはKNM-S243もご使用いただけます。

オプション	ハイパスフィルタ TFL-009、TFL-009D 固定減衰器 TPD-402 (50 Ω 10dB)
-------	--

使用上の注意事項

1. 漏洩電流ブレーカーが設置している電源線で使用するとブレーカーが作動することがあります。
AC100V、50 / 60Hz、400mAの漏洩電流が流れます。

【対策】

- ①絶縁トランスを使用する。
- ②ブレーカーが設置されていない電源線を使用する。

2. 測定線路を切り換えるとパルスが発生します。
スペクトラムアナライザと組合せ使用するとスペクトラムアナライザの入力回路が破損する恐れがあります。

【対策】

- ①ハイパスフィルタ TFL-009 または TFL-009D を使用する。
- ②同軸ケーブルを外してから切り換える。
- ③CISPR規格の要求で、測定器の測定端子を50Ωに整合させるために、10dBの減衰器を擬似電源回路網の内部か外部に挿入することを求めています。この機種は外付け対応になります。